

行政視察報告書

平成30年2月

総務文教常任委員会

奈良県香芝市公共交通視察報告書

視察日時 平成30年1月17日 午後1時30分から
場 所 奈良県香芝市役所 5階 委員会室

報 告 内 容

地域公共交通に関し先進地を視察いたしました。香芝市は面積では加東市の約6分の1の24.23km²でそのうち市街化区域が12.428km²であり、大阪市のベッドタウンとして発展している市であり、人口も加東市の約2倍の79,023人で第1次産業の比率の小さい市である。高齢化率は21.6%と加東市に比べ低い市であるが、しかし、ベッドタウンとして当初に開発された地域では高齢化が進行しており、買い物等に不便を感じる高齢者もあり、地域格差を生じている。

そのような状況に鑑み、公共交通の必要性を感じられ推進を図られている。一番の特徴は、ドアー トゥ ドアー の考えによりデマンドタクシーを運行し、買い物難民等他高齢者の移動手段を講じていることである。又、市街地においてはデマンドバスの運行も実施しており、通勤時には満員になる等市民に親しまれ市民生活に定着している。

経費的にはデマンドバスで約4,000万円、デマンドタクシーでは約4,200万円、合わせて年間8,200万円の費用が掛かるようであるが、利用料は一律200円と低廉に抑えている。

加東市と香芝市では、人口、面積、市街化率等大きな違いがあるので同一には論じられないが、市役所、又、担当課並びに担当者の公共交通に対する考え、熱意には感嘆するとともに大変参考になりました。